

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR213C
採択年度	: 2021年度
分野	: 第3分野
研究開発課題名	: バイオマスプロダクトツリーを実現する新規改質セルロースの開発
プロジェクトリーダー 所属機関	: 株式会社ダイセル
研究責任者	: 瀧 健太郎(金沢大学)

評価結果の総合所見

本テーマは、バイオマス資源から効率的に製造される成形加工性と海洋分解性に優れた新規改質セルロースおよびその製造技術を開発するものである。

概ね目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。今後の取り組み次第では十分にイノベーション創出の可能性がある。

バイオマス資源からの高品質新規改質セルロースの連続合成工程の制御に関わる基本情報を取得し高生産性を可能とした。また、新規セルロース製品の成形に知見を得た。これらは、当初の目的を高いレベルで達成したものと評価できる。今後は、長期の連続運転安全性や製造コストの評価等、実用を見据えた検討を実施して頂きたい。

以上